



第35回 厚生科学審議会 予防接種・ワクチン分科会 予防接種基本方針部会 ワクチン評価に関する小委員会



乾燥弱毒生おたふくかぜワクチン「タケダ」について

武田薬品工業株式会社

2026年7月22日

第35回厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会
予防接種基本方針部会ワクチン評価に関する小委員会

2026(令和8)年7月22日

資料
1-4

乾燥弱毒生おたふくかぜワクチン「タケダ」 製造販売元：武田薬品工業株式会社

製品名	乾燥弱毒生おたふくかぜワクチン「タケダ」
一般名	乾燥弱毒生おたふくかぜワクチン
効能・効果	おたふくかぜの予防
有効成分・特徴	皮下注用の乾燥製剤であり、添付の溶剤で溶解したとき、液剤0.5mL中に以下の有効成分を含む。 弱毒生ムンプスウイルス(鳥居株) 5,000 CCID₅₀以上
貯法・有効期間	- 貯法：5℃以下で保存 - 有効期間：1年
適応年齢	生後12か月以上のおたふくかぜ既往歴のない者であれば性、年齢に関係なく使用できる。接種年齢は、学会等の最新の情報を考慮して総合的に判断すること。
用法・用量	本剤を添付の溶剤(日本薬局方 注射用水)0.7mLで溶解し、通常、その0.5mLを1回皮下に注射する。
有効性	- 国内臨床試験(小児)：生後12か月以上の健康小児を対象とした臨床試験において497例中477例で抗体が陽転し、抗体陽転率は90%以上、平均抗体価は5.2(log2)の成績が得られた。 - 感染防御効果：ムンプス流行時、家族内小児同胞237例を対象に行ったワクチン接種群及び未接種群の家族内二次感染・発病阻止調査において、ワクチンの予防効果率は94.3%であった。
安全性	- 重大な副反応(電子添文)として、ショック、アナフィラキシー(頻度不明)、無菌性髄膜炎(0.1%未満)、急性散在性脳脊髄炎(ADEM)(頻度不明)、脳炎・脳症(頻度不明)、免疫性血小板減少症(頻度不明)、難聴(頻度不明)、精巣炎(頻度不明)、急性膵炎(頻度不明)などがある。 - 無菌性髄膜炎(0.1%未満)：おたふくかぜワクチン(鳥居株または星野株)に由来すると疑われる無菌性髄膜炎が10万接種あたり13.4であったとの報告がある。
供給	当社は乾燥弱毒生おたふくかぜワクチン「タケダ」について、令和9年4月時点における1期末接種児（最大で令和3～7年度生まれの5世代分を想定）に対するキャッチアップ接種を含め、令和9年度からの定期接種に向けた製造・供給の準備を進める意向です。ただし市場動向や制度設計次第によっては、必要な製造量の確保や持続的な供給に支障をきたしうるため、定期接種に係る厚生科学審議会での議論を注視しつつ、今後も関係各所と密に連携させて頂きたいと考えております。